

地域活性化に向けた地産地消及び食育の支援

■ 学校給食向け生産者、管内小中学校 ■

(西讃農業改良普及センター 西田剛、○甲把理恵)

●対象の概要

令和5年度現在、管内の学校給食向け生産者（事業者）の登録状況は、観音寺市で2件（ロメインレタス、ニンニク）、三豊市で25件（ブロッコリー、ナス、アスパラガス等）となっている。特に三豊市では、平成28年4月から「三豊市南部給食センター」が稼働し、日量3,800食の給食が提供されており、同市農林水産課と学校給食課は連携を取りつつ安定供給体制の構築に努めている。

また、観音寺市立の小中学校は15校、三豊市立の小中学校は25校あり、それぞれの学校では関係機関と連携した農業体験や学習等の機会を設けている。

●課題を取り上げた理由

平成20年度の学校給食法の改正により「学校における食育の推進」が明確化され、学校給食現場から地産地消を通じた食育や地域農産物の利用拡大に向けた支援要請があった。

一方で、地域農業の活性化を図るため、地元での消費を拡大し、生産者の所得機会を創出する必要がある。

●普及活動の経過

1 学校給食と生産者の連携支援

平成21年度から産直市が取り組む学校給食への食材供給の支援、県オリジナル野菜「食べて菜」の安定供給支援、給食センター出荷者を対象とした食の安全・安心研修会の開催などの活動を行ってきた。令和4年度には管内の産直販売担当者や給食センター出荷者を対象としたGAP研修会を開催するとともに、地域特産の「三豊ナス」「ブロッコリー」等の生産者への栽培指導を通じて安全安心な地域農産物の安定供給を図った。

また、地域の農業や食文化への児童・生徒の関心を高めるため、普及センターが把握している地域の農産物情報を、観音寺市及び三豊市の学校給食関係者へ提供した（表-1）。



産直及び給食センター出荷者向けGAP研修会



生産者への技術指導

表-1 学校給食への農産物情報の提供

	令和4年度	令和5年度
品目数	9	7
	キャベツ、イチゴ、セルリー、ミニセルリー、ミニトマト、不知火、タケノコ、レタス、ロメインレタス、ニンニク	タマネギ、ブロッコリー、ロメインレタス、アスパラガス、おいでまい、ビオーネ、シャインマスカット

2 児童・生徒と生産者の交流の場づくり支援

学校、市、J A等からの要請に応じ、「おいでまい」「さぬきのめざめ」等の県オリジナル品種や「シャインマスカット」「ピオーネ」「ブロッコリー」等の県の主力品目を食育教材として、出前授業や収穫体験の支援を行っており、令和4年度は13品目延べ62名、令和5年度は14品目延べ54名の生産者が地元小中学校の児童・生徒と交流した。



おいでまいの出前授業



ぶどう収穫体験

●普及活動の成果

1 学校給食と生産者の連携支援

産直・給食センター出荷者へ農薬安全使用及び安心・安全な農作物の生産（GAPの取組み）について研修会を開催したところ、参加者からは「農薬の使用記録の大切さがわかった」、「農薬は正しく使う必要があるので個別指導が大事だと思った」などの感想が得られ、安全安心な農産物の供給への理解が深まる機会となった。

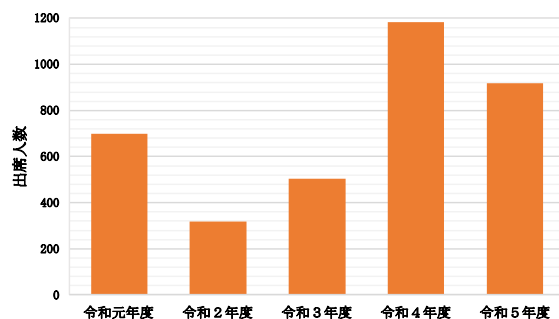
また、学校給食関係者へ提供した農産物情報は、栄養教諭等を通じて給食の時間に放送などで情

報を提供されるとともに、児童を通じて家庭で情報を共有してもらうことで地域農産物の購買意欲の向上につながった。

2 児童・生徒と生産者の交流の場づくり支援

出前授業・給食交流の支援実績は、令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で少なくなっていたが、令和4年度は中学校からの依頼なども受けるようになり、令和元年度を上回る学校数となった（図-1）。

こうした取組みは、児童・生徒や栄養教諭等の給食関係者の地域農業への理解を深めたほか、生産者の食育意識や生産意欲向上の機会ともなった。



	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
授業回数	22	14	19	32	25
対象学校数	13	9	11	16	14

図-1 出前授業・給食交流支援の実績

●今後の普及活動の課題

1 食育活動の継続充実に向けた支援

出前授業受け入れ生産者の後継者不足に加え、生活研究グループや地域のボランティアメンバーも高齢化しつつある。令和4年度には、管内の女性農業者グループが地元小学校での食育授業を初めて行い、そのプレゼン資料の作成支援を行ったところであり、こうした支援を通じて新たな人材を巻き込む取組みを進めていきたい。

2 地域の伝統野菜の活用促進

伝統野菜は通常品種と比べて栽培方法や収量に課題がある。特に「食べて菜」等の葉物は予定献立表に合わせた出荷日の調整が難しいため、安定供給への支援を継続するとともに給食センターの受入れ基準や体制などを見直す必要があると考えられる。